



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社近鉄エクスプレス

コード番号 9375

URL <http://www.kwe.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石崎 哲

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 乾 和雄

(TEL) 03-6863-6445

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	204,756	9.0	9,710	△1.3	10,433	2.0	6,482	△4.3
25年3月期第3四半期	187,867	△6.4	9,834	△4.4	10,229	△7.5	6,775	△10.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 13,236百万円(75.8%) 25年3月期第3四半期 7,530百万円(36.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	180.08	—
25年3月期第3四半期	188.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	158,687	103,835	63.9	2,814.68
25年3月期	140,116	92,197	64.3	2,501.11

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 101,326百万円 25年3月期 90,038百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	22.00	37.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	8.9	14,500	9.1	14,500	2.0	9,200	0.7	255.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	36,000,000株	25年3月期	36,000,000株
26年3月期3Q	714株	25年3月期	714株
26年3月期3Q	35,999,286株	25年3月期3Q	35,999,286株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の詳細に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下、当第3四半期という。）における世界経済は、米国では緩やかな回復基調となり欧州でも下げ止まりの兆しが見られはじめましたが、中国及びその他新興国では期初から成長のテンポが減速するなど、本格的な回復には至りませんでした。

我が国経済は、輸出が伸び悩みましたが、政府の各種政策への期待や効果の発現から、景況感の改善が見られるようになりました。

当社グループが主に関わる国際物流市場では、航空貨物輸送においては輸送需要の回復が見られず、全体的に低調に推移しました。

このような状況の中、当第3四半期の当社グループ全体の取扱物量につきましては、航空貨物輸送は輸出重量で前年同期比7.9%減、輸入件数で同9.1%減となり、海上貨物輸送は輸出容積で同17.3%増、輸入件数で同0.7%増となりました。また、ロジスティクスにつきましては、一部の地域で堅調な取扱いとなりましたが、全体的には伸び悩みました。

上記のとおり、航空貨物輸送は低調に推移しましたが、海上貨物輸送はグループを挙げて営業活動を推進した結果、取扱いは順調に増加しました。

各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

<日本>

航空輸出貨物は、自動車関連品やスマートフォン関連品で堅調な荷動きとなりましたが、その他の品目では輸送需要の回復が見られず、取扱重量は前年同期比4.8%減となりました。航空輸入貨物は、スマートフォン関連品やメディカル関連品で取扱いが増加しましたが、その他の品目では勢いが見られず、取扱件数は前年同期比1.5%減となりました。海上貨物は、輸出では設備関連や自動車関連品等の出荷が増加し、取扱容積で前年同期比23.4%増となり、輸入ではソーラーパネルや衣料品等の取扱いが増加し、取扱件数で同8.9%増となりました。ロジスティクスにつきましては、通信機器関連品で荷動きが鈍く、取扱いが減少しました。

この結果、国内関係会社を含めた日本全体の営業収入は77,376百万円（前年同期比1.8%増）となり、営業利益は3,461百万円（同15.5%増）となりました。

<米州>

航空輸出貨物は、一部顧客の海上シフトやメディカル関連品の取扱い減少等により、取扱重量は前年同期比3.9%減となりました。航空輸入貨物は、エレクトロニクス関連品や自動車関連品の輸送需要が減少し、取扱件数で前年同期比16.2%減となりました。海上貨物は、輸出では航空機関連品や穀物の取扱いが増加し、取扱容積で前年同期比18.9%増となり、輸入では自動車関連品や半導体製造装置等の取扱増加により、取扱件数で同9.8%増となりました。ロジスティクスにつきましては、米国でビジネスが順調に拡大し、全体として取扱いが増加しました。

この結果、米州全体の営業収入は28,765百万円（前年同期比20.9%増）、営業利益は1,516百万円（同12.4%増）となりました。

なお、1米ドルあたりの円換算レートは、当第3四半期が96.71円、前年同期が79.37円であります。

<欧州・中近東・アフリカ>

航空輸出貨物は、自動車関連品での新規ビジネス獲得やスポット貨物が増加したことにより、取扱重量は前年同期比10.1%増となりました。航空輸入貨物は、エレクトロニクス関連品などで低調な荷動きとなり、取扱件数は前年同期比17.3%減となりました。海上貨物は、輸出ではプラント関連輸送やスポット貨物の増加等により、取扱容積で前年同期比39.9%増となりましたが、輸入では化学品やエレクトロニクス関連品が減少し、取扱件数は同22.4%減となりました。ロジスティクスにつきましては、イタリア、ロシアでビジネスが拡大しましたが、全体的には取扱いが伸び悩みました。

この結果、欧州・中近東・アフリカ全体の営業収入は23,508百万円（前年同期比28.0%増）、営業利益は569百万円（同54.7%増）となりました。

なお、1ユーロあたりの円換算レートは、当第3四半期が127.35円、前年同期が101.75円であります。

<東アジア・オセアニア>

航空輸出貨物は、エレクトロニクスを中心とした大手顧客の輸送需要に回復が見られず、取扱重量は前年同期比16.7%減となりました。航空輸入貨物は、エレクトロニクス関連品や液晶部材の物量が減少し、取扱件数は前年同期比8.9%減となりました。海上貨物は、輸出ではソーラーパネルや衣料品等の堅調な荷動きにより、取扱容積で前年同期比6.1%増となりましたが、輸入ではエレクトロニクス関連品で取扱いが伸び悩み、取扱件数で同0.0%減となりました。ロジスティクスにつきましては、韓国でのビジネスが拡大しましたが、その他の地域では在庫調整もあり、取扱いが伸び悩みました。

この結果、東アジア・オセアニア全体の営業収入は58,424百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は2,986百万円（同20.8%減）となりました。

＜東南アジア＞

航空輸出貨物は、自動車関連品の物量減少やタイの洪水の影響による緊急輸送の反動により、取扱重量は前年同期比6.9%減となりました。航空輸入貨物は、エレクトロニクス関連品の物量減少や輸出同様緊急輸送の反動により、取扱件数は前年同期比13.3%減となりました。海上貨物は、輸出で自動車関連品や農産物の取扱い増加により、取扱容積で前年同期比35.4%増となりましたが、輸入ではエレクトロニクス関連品で物量が減少し、取扱件数で同11.7%減となりました。ロジスティクスにつきましては、タイ及びインドネシアでのビジネス拡大が全体の取扱い増加に寄与しました。

この結果、東南アジア全体の営業収入は20,794百万円（前年同期比14.1%増）、営業利益は780百万円（同25.6%減）となりました。

以上のとおり、世界経済の本格的な回復が見られず輸送需要が伸び悩む中、当社グループは一体となって営業活動を推進し、加えて固定費、流動費の抑制を継続して実施してまいりました結果、当第3四半期の営業収入は204,756百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益は9,710百万円（同1.3%減）、経常利益は10,433百万円（同2.0%増）、四半期純利益は6,482百万円（同4.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末（以下、当第3四半期末という。）における総資産は、前連結会計年度末（以下、前期末という。）から18,570百万円増加し、158,687百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が10,575百万円、受取手形及び営業未収入金が4,814百万円増加したこと等により、16,395百万円増加いたしました。固定資産は、有形固定資産が882百万円、投資その他の資産が1,378百万円増加したこと等により、2,175百万円増加いたしました。

当第3四半期末における負債合計は、前期末から6,932百万円増加し、54,852百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び営業未払金が2,111百万円、その他の流動負債が918百万円増加した一方、短期借入金が1,886百万円減少したこと等により、1,631百万円増加いたしました。

固定負債は、長期借入金が4,444百万円増加したこと等により、5,301百万円増加いたしました。

当第3四半期末における純資産は、利益剰余金、為替換算調整勘定の増加等により、前期末から11,637百万円増加し、103,835百万円となりました。この結果、自己資本比率は63.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、世界経済は、米国、欧州での回復が緩やかに進み、もう一段の改善を窺う局面が続くものと思われます。

このような状況の中、当社グループは、今期を初年度とする中期経営計画“Ready for the Next! Phase 2（未来への挑戦—さらなる飛躍へ）”（平成26年3月期～平成28年3月期、3ヵ年）で掲げた、1. バランスの取れた事業構成の構築と重点品目の取扱い拡大、2. 成長する新興国でのプレゼンスの向上、3. オフショア販売の強化と効率性を追求した高品質なオペレーションの構築の3つの戦略の柱に沿った諸施策に引き続き取り組んでまいります。

当社グループの業績は、世界景気、為替の動向などにより変動する可能性もありますが、現時点の平成26年3月期の業績予想は平成25年5月9日に公表したとおり、営業収入は270,000百万円（前期比8.9%増）、営業利益は14,500百万円（同9.1%増）、経常利益は14,500百万円（同2.0%増）、当期純利益は9,200百万円（同0.7%増）を見込んでおり、変更はありません。

(注) 業績の予想に関する注意事項

上記の予想数値は現時点で得られた情報に基づいて判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により当該予想と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,541	52,116
受取手形及び営業未収入金	46,440	51,254
その他	4,489	5,516
貸倒引当金	△319	△340
流動資産合計	92,151	108,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,241	18,504
土地	10,814	11,056
その他（純額）	3,456	3,834
有形固定資産合計	32,512	33,395
無形固定資産		
のれん	389	387
その他	1,074	990
無形固定資産合計	1,463	1,378
投資その他の資産	13,988	15,366
固定資産合計	47,964	50,140
資産合計	140,116	158,687
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	19,759	21,871
短期借入金	13,098	11,211
未払法人税等	1,282	1,260
賞与引当金	1,866	2,487
役員賞与引当金	208	97
その他	8,043	8,962
流動負債合計	44,259	45,890
固定負債		
長期借入金	1,000	5,445
退職給付引当金	1,955	2,458
その他	704	1,057
固定負債合計	3,659	8,961
負債合計	47,919	54,852

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,216	7,216
資本剰余金	4,867	4,867
利益剰余金	80,565	85,715
自己株式	△1	△1
株主資本合計	92,646	97,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	643	1,242
為替換算調整勘定	△3,251	2,286
その他の包括利益累計額合計	△2,608	3,528
少数株主持分	2,159	2,508
純資産合計	92,197	103,835
負債純資産合計	140,116	158,687

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収入	187,867	204,756
営業原価	155,877	170,698
営業総利益	31,989	34,058
販売費及び一般管理費	22,155	24,347
営業利益	9,834	9,710
営業外収益		
受取利息	234	302
受取配当金	15	19
負ののれん償却額	26	26
持分法による投資利益	39	42
為替差益	154	254
雑収入	137	294
営業外収益合計	608	940
営業外費用		
支払利息	200	177
雑支出	14	39
営業外費用合計	214	216
経常利益	10,229	10,433
特別利益		
固定資産売却益	9	44
負ののれん発生益	33	—
特別利益合計	43	44
特別損失		
固定資産売却損	1	7
固定資産除却損	6	67
投資有価証券評価損	5	217
子会社清算損	2	—
ゴルフ会員権評価損	8	—
賃貸借契約解約損	118	—
特別損失合計	143	291
税金等調整前四半期純利益	10,128	10,186
法人税等	2,994	3,356
少数株主損益調整前四半期純利益	7,134	6,829
少数株主利益	359	346
四半期純利益	6,775	6,482

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,134	6,829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98	598
為替換算調整勘定	297	5,805
持分法適用会社に対する持分相当額	—	2
その他の包括利益合計	396	6,406
四半期包括利益	7,530	13,236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,165	12,620
少数株主に係る四半期包括利益	365	616

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	日本	米州	欧州・ 中近東・ アフリカ	東アジア・ オセアニア	東南 アジア	計				
営業収入										
外部顧客への 営業収入	74,871	22,570	17,828	54,407	17,965	187,643	223	187,867	—	187,867
セグメント間の内部 営業収入又は振替高	1,157	1,220	543	475	263	3,660	1,226	4,887	△4,887	—
計	76,029	23,791	18,372	54,882	18,228	191,304	1,450	192,755	△4,887	187,867
セグメント利益	2,997	1,349	368	3,769	1,048	9,533	314	9,847	△12	9,834

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社グループ内部への物流付帯事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△12百万円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 日本を除く各セグメントに属する主な国又は地域は次のとおりであります。

(1) 米州……………米国、カナダ、及び中南米諸国

(2) 欧州・中近東・アフリカ……………英国、ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、スイス、アイルランド及びその他の欧州、ロシア、アフリカ諸国、中近東諸国

(3) 東アジア・オセアニア……………香港、中国、韓国、台湾、フィリピン、オーストラリア

(4) 東南アジア……………シンガポール、マレーシア、タイ、インド、インドネシア、ベトナム

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	日本	米州	欧州・ 中近東・ アフリカ	東アジア・ オセアニア	東南 アジア	計				
営業収入										
外部顧客への 営業収入	75,867	27,411	22,955	57,820	20,450	204,506	249	204,756	—	204,756
セグメント間の内部 営業収入又は振替高	1,508	1,353	553	604	343	4,363	1,381	5,745	△5,745	—
計	77,376	28,765	23,508	58,424	20,794	208,870	1,631	210,501	△5,745	204,756
セグメント利益	3,461	1,516	569	2,986	780	9,315	393	9,708	1	9,710

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社グループ内部への物流付帯事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 日本を除く各セグメントに属する主な国又は地域は次のとおりであります。

(1) 米州……………米国、カナダ、及び中南米諸国

(2) 欧州・中近東・アフリカ……………英国、ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、スイス、アイルランド及びその他の欧州、ロシア、アフリカ諸国、中近東諸国

(3) 東アジア・オセアニア……………香港、中国、韓国、台湾、フィリピン、オーストラリア

(4) 東南アジア……………シンガポール、マレーシア、タイ、インド、インドネシア、ベトナム